



東京 2025 デフリンピックの事前合宿に関する 協定書の締結について

浜松市長がブラジルろうあスポーツ連盟（以下「CBDS」）と、事前合宿に関する協定書の締結を行いました。これを受けて、浜松市は 2025 年に開催される「東京 2025 デフリンピック」に関して、ブラジル選手団の事前合宿受け入れを行います。

◎ 協定書締結

締結日：2024 年 7 月 15 日（月）11 時 ※日本時間：7 月 15 日（月）23 時

場 所：ブラジルパラリンピック委員会トレーニングセンター（サンパウロ市）

締結者：CBDS 会長 ダイアナ・サザノ・デ・ソウザ・キョセン氏 浜松市長 中野 祐介

◎ 協定書の主な内容

- ・CBDS は、浜松市を東京デフリンピック大会の事前合宿地として公式に認め、本協定書に基づいて実施するものとする。
- ・事前合宿に参加する競技は、東京デフリンピック大会で実施されるサッカー、バレーボール、ハンドボール、陸上、バトミントン、テニス、卓球、ビーチバレー、柔道、空手、テコンドー、水泳とする。
- ・事前合宿に要する費用として浜松市が負担する費用は、予算の範囲内において以下の項目の実現に努めるものとする。
 - (1) 浜松市内の宿泊施設と練習会場間の輸送に要する経費
 - (2) スポーツ施設利用に要する経費
- ・CBDS は浜松市の要請に基づき、浜松市民との交流イベントへの参加に可能な限り応じるものとする。

◎ 市長のコメント

本日、ブラジルろうあスポーツ連盟と浜松市が、東京 2025 デフリンピック大会の事前合宿に関する協定を締結できたことは、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるインクルーシブスポーツを推進し、共生社会の実現を目指す本市にとって大きな意義があります。

本市は、2016 年からブラジル連邦共和国のホストタウンとして、また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では 464 人のブラジル代表選手団を受け入れた経験が財産となり、市民とスポーツを通じた様々な交流活動が生まれたことにより、ブラジルと浜松市の関係をより深いものにしたと確信しています。

2025 年に開催される東京 2025 デフリンピック大会の事前合宿においても、選手の皆さんが日頃の練習の成果を存分に発揮し、良い結果が残せるよう、浜松市民一丸となって全力でサポートいたします。併せて、浜松市民はもとより、在日ブラジル人との交流の機会も創出し、両者の関係をさらに発展させていきたいと思います。



◎ CBDS との協定書締結時の様子

